

# 寺報みょうとく

## 寺報編集委員会発足

前号でお伝えしましたが、護持会発足によりこの寺報も少し役割を変えることとなりました。

総代・仏教壮年会と仏教婦人会の有志の集まりで寺報編集委員会を組織し、この誌面を製作することとなりました。編集委員が話し合い、記事を持ち寄り検討を重ねる会議を数回経て、発行いたします。

今回は編集委員から、今後の誌面に向けてのお願いを中心とした内容を掲載しています。

寺報の編集委員会の発足メンバーです。護持会委員さんのための誌面にしたいと思っております。ご協力をお願いします。



## 奇稿のお願い

### 私のささやかな『へウレーカ』

NHK Eテレで「又吉直樹のへウレーカ」という番組があります。面白い言葉だなと調べてみると「見つけたぞ」「わかつたぞ」の意味とのこと。古代ギリシアの科学者アルキメデスがアルキメデスの原理を発見した時に叫んだ言葉だそうです。偉人の言葉を凡人が使うのは恐ろしいことですが、自分なりに「わかつたぞ」と思うことはそれなりにあります。

最近の私の例を述べてみたいと思います。昨年の六月十六日に開催された安芸教区東部地区仏教壮年大会の中の講師・松月博師の「今こそ浄土」の講話の中で、「浄土はあるのかないのか問うべきものではない」と言われ、他人事でなく私事で考えれば「浄土はなくてはならないものである」と説かれた。講話の前後の内容の理解も踏まえて語るべきとは思いますが、これを聞いた時に私なりに「そうなんだ。わかつたぞ」と感じました。

浄土真宗本願寺派妙徳寺  
(安芸教区志和組)  
発行責任 大江了証  
東広島市八本松町飯田六〇二  
電話〇八二一四二八〇一四四



## 別院清掃奉仕

二月二十五日(火)、妙徳寺仏教婦人会の有志十人、本堂や会議室、納骨堂など施設内を隅々までお掃除いたしました。門徒の中心となるお寺です。みんなで護持する大切なお寺です。どうぞ皆さんご参加ください。

お参りとお話を聞いた後、本堂や会議室、納骨堂など施設内を隅々までお掃除いたしました。門徒の中心となるお寺です。みんなで護持する大切なお寺です。どうぞ皆さんご参加ください。

## 妙徳寺護持会の運営について

酒井寿喜さんとともに護持会の副会長役を承っています有光秀雄です。住職の大江了証、会長の本藤光宣を補佐して、護持会を盛り上げていきたいと考えます。

昨年11月25日に妙徳寺護持会の設立の趣旨をご説明し、皆様方のご協力をお願いしましたが、その後多くの方々よりのご賛同を得ており、その確立を目指して進めています。現在400件を超えるご賛同をいただき本年5月の永代経法座を護持会主催として総会を行う予定です。

護持会の目指すところは、妙徳寺の円滑な運営だけでなく、妙徳寺を核としての地域の絆づくりにもあります。生活・文化が多様化する中で、絆づくりには共通する理念があることが大事と考えます。妙徳寺には浄土真宗の教えの実現という基盤があります。これにより多くの方々参加できる関係作りが行えると考えます。

設立趣意書に説明してありましたように、「『あなたに何があるとも決してあなたを諦めない。必ずあなたの力になる、それが私のよろこびなのです。』という仏様の願いを聞く」ということを具体化しながら、護持会の活動を推進していきたいと考えます。

## 寺子屋報告

一月二十六日(日)、冬の寺子屋を開きました。子ども六人と仏壯、仏婦の有志が集まって一緒にお参りと仏さまのお話を聞き、お念珠づくりをしました。



妙徳寺仏教婦人会で広島別院清掃奉仕に行った時の記念写真です。感染症を心配しながらご参加くださいました。

## 一語法話

### 『正信偈の十二光』②

普放無量無辺光  
：超日月光照塵刹  
阿弥陀仏はすべての人を救うためにどのような人になられたのか？親鸞

寺子屋でお念珠づくりをした様子です。最後の仕上げが難しかったです。最後の仕上げが難しかったです。

さまはその働きを『正信偈』で十二の光と示してお教えくださいます。つまり無量光、無辺光、無碍光、無対光、光炎王光、



## 行事予定

ご不明な点は お問い合わせ下さい

四月二十六日(日)  
午前十時 初参式、はなまつり  
午後一時 会員追申会、法座

仏婦法座 (ぶつぽうざ)  
講師 廿日市市 最禪寺  
米田順昭師

五月二十一日(木) 午後一時から二時半  
永代経法要・降誕会  
並びに護持会総会  
講師 住職自動

六月十八日(木) 午後一時 午後六時半  
十九日(金) 午前九時 午後二時  
安居会 (あんごえ)  
講師 住職自動

七月五日(日) 午前十時、午後一時  
川上仏婦法座  
講師 安芸太田町 正覚寺  
清胤祐子師

清浄光、歡喜光、智慧光、不断光、難思光、無称光、超日月光です。それぞれどのようなお働きなのか、前号から引き続き親鸞聖人の書かれたご和讃を通して味わっていきます。

②無辺光  
無辺とは、隔たりが無いという事です。「ここまでは助けるけど、これ以上は助けない」ということはなく、どんな極悪人でも、どんなに穢れた人でも、どんなに反発したり疑ってきたりするようない人でも受け入れていく。この人は自分を傷付けてくる人だから、疑ってくる人だから、思い通りにならない人だから、そういった理由で相手を

見捨てる事はせず、自分の都合を離れて苦しんでいる人を助けていく、それが無辺光です。  
「解脱の光輪もなし  
光触かふるものはみな  
有無をはなると述べたまふ  
平等覚に帰命せよ」  
解脱の光輪とは、苦しみやとらわれ、迷いを取り除いてくれる阿弥陀仏のお力を光として表し、それが際もなしというの

は、どんな極悪人であっても差別することなく助けて下されるという事です。阿弥陀仏はすべての人を助けたいと願われて仏になりました。だから、阿弥陀仏の光明には、すべての人を助けたいという願いがこもっているのです。そのため、阿弥陀仏の心に触れた人は、その広い心に触れ、今までいかにちっぽけな心にとらわれていたか知らされ、自分の事しか考えてい

かったことに反省せずにはおれなくなるのです。私も今までこの人は続けておつきあいくださるか、それともそうでないか、話を聞いてくれるかどうか、つまり、自分にとつて都合が良いか、良くないか、そんな事をいつも考えて接してきたとちっぽけな考えであり、自分の中で救われる人とそうでない人を区別していたのだと反省します。

阿弥陀仏のみ心から言え、聞いてくれるかどうかという事は関係ない。今、目の前にいる人は阿弥陀仏が助けようとされている人なのだと思う。この人の香りを残していく。この人とは今日が最後だとしても、自分と会えて良かったと思つて頂けるように幸せを施していく。それが阿弥陀仏のみ心に触れて揺り動かされて生きていく仏弟子のすがたなのだと思えます。

私へのウレシイ力 No.1  
小学校四年のある時、先生が鶴亀算の問題をみんなに出しました。授業中には正解者が出ませんでした。放課後の掃除で階段を拭きながらなんとなく考えていたところ、突然正解が閃きました。「わかつたよ！」と先生にかけつけました。  
それ以後、算数が好きになり、また勉強も好きになりました。  
私のその後の生き様の大きなきっかけになりました。  
(有光秀雄)

総代の竹本さんに郷土の歴史についてのコラムをお願いしています。  
あらためて郷土のことを知ることは、ここに生活する私によるこびにつなぐるとも大切なことです。先人に思いを馳せながら読ませていただきます。

「古代山陽道」は中国大陸から官人や物資を運ぶ為に、国の威信をかけて造られた道です。道幅は六く十mあり石畳を敷き詰め、道の両脇は石の側溝がありました。備後府中では最近発掘されましたが、東広島では発見されていませんのでルートは未定です。

一里塚を設けました。長尾一里塚は国道2号線の溝迫交差点を西へ二百m程下った所に復元しています。その一里塚の傍には道の両脇に松を一本ずつ植え、それを石垣で囲むのが慣わしでした。松の幹はそれぞれ四本に分かれていました。南側は女松(宗吉村飛地)、北側は男松(飯田村)、その男松は優しく劣るように女松に覆い被さ

り、女松の枝は男松の枝の間を慎ましやかに延びていたそうです。通り行く旅人はその姿を、一休みしながら眺め、古里に残した女房や子供達を思い浮かべながら、大山峠を越へ広島まで五里、東は四日市(西条)を過ぎ備後尾道まで十四里へと先を急いだのです。  
国郡志下調査出帖 宗吉村より抜粋(次号へ続く)

《八本松と山陽道》  
今回は「八本松」の謂れを紹介いたします。  
古代律令国家を制定する時代には九州大宰府から奈良・京の都へ通じる「古代山陽道」が飯田村を東西に横切っていました。  
江戸時代慶長六年(一六〇一)福島正則が芸備藩主となって入府してから道を整備しました。古代山陽道と江戸時代の道とが同

元和五年(一六一九)福島正則は改易(左遷)され、代わって浅野長晟が紀州和歌山から広島へ入府しました。二代藩主光晟の時、寛永十年(一六三九)には参勤交替が制度化され、道幅を二間半(4.5m)に拡張し、三十六町(一里=約3.93km)になり



**妙徳寺ホームページ**  
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>  
ホームページ内で行事予定を随時更新しています。

**合同墓・墓地案内**  
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地があります。たくさんのお方にご利用いただけます。

**志和組テレホン法話「みのりの電話」**  
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはつく)

4月 1日～	寿福寺	田中初美
4月 11日～	西方寺	安国真雄
4月 21日～	光源寺	堀 靖史
5月 1日～	長松寺	中田輝道
5月 11日～	浄蓮寺	沼田成子
5月 21日～	西蓮寺	西浦憲雄
6月 1日～	妙徳寺	大江了証
6月 11日～	天龍寺	天野由紀子
6月 21日～	寿福寺	田中一乗

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

**「写経の会」開催予定日**

4月 11日(土)	午後2時より	/	24日(金)	午後2時より
5月 9日(土)	午後2時より	/	22日(金)	午後2時より
6月 13日(土)	午後2時より	/	26日(金)	午後2時より

申し込みは 金曜日の部代表 西本さん(428-2466)、土曜日の部代表 廣川さん(428-5935)または妙徳寺へご連絡下さい。

**「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日**

4月 11日(土)	午後7時から定例会
5月 18日(月)	午後7時より定例会
6月 13日(土)	午後7時より定例会

毎月第2土曜日午後7時開催を原則としています。

**「おみのりサロン」開催予定日**

4月 21日(火)	午後2時より1時間半	(『大乘』講読会と座談会など)
5月 11日(月)	午後2時より1時間半	(『大乘』講読会と座談会など)
6月 25日(木)	午後2時より1時間半	(『大乘』講読会と座談会など)

**「お茶の会」開催予定日(参加者募集中、ご連絡ください)**  
4/10(金) 午後2時より。以降の予定は電話かホームページでご確認ください。